

国内オフィス / ホームプリンティング市場予測を発表

Japan, 2019年5月29日 - IT専門調査会社 IDC Japan 株式会社（所在地：東京都千代田区九段北1-13-5、代表取締役社長：竹内正人、Tel代表：03-3556-4760）は、オフィス / ホームプリンティング市場の2018年支出額実績と、2023年までの予測を発表しました。これによると、国内オフィス / ホームプリンティング市場の2018年の支出額全体は、前年比2.5%減の1兆8,621億500万円でした。IDCでは、国内オフィス / ホームプリンティング市場は今後緩やかな縮小を続けるとみており、2018年～2023年の年間平均成長率（CAGR：Compound Annual Growth Rate）をマイナス1.9%、2023年の支出額が1兆6,893億8,600万円となると予測しています。

2018年の支出の内訳は、ハードウェア購入 / 保守支出が7,571億4,100万円（全体の40.7%）、ページボリューム関連支出が1兆515億3,300万円（同56.5%）、プリント関連ビジネスが534億3,100万円（同2.9%）でした。主要な支出セグメント別の予測では、ハードウェア購入 / 保守支出が2023年に7,141億9,600万円（2018年～2023年のCAGRでマイナス1.2%）、ページボリューム関連支出が9,196億700万円（同CAGR マイナス2.6%）となるとみています。

ハードウェア購入 / 保守支出のうち最大のレーザーMFPへの支出額については、オフィスにおける底堅い買い換え需要があるため、2019年～2023年のCAGRでマイナス0.3%と予測しています。一方、同じく主にオフィスで使用されるレーザープリンターについては、MFPへの集約やワークフロー電子化などの影響によって同CAGRがマイナス6.4%となるとみています。また、主に家庭で使用されるインクジェットMFP/プリンターは、スマートフォンの普及によるプリント機会の減少、電子メールやソーシャルネットワークなどの影響による年賀状の減少、機器性能の成熟化による買い換え期間の長期化といった影響で、出荷台数が継続的に減少、出荷額も同CAGRでマイナス4.8%となると予測しています。

国内オフィス / ホームプリンティング市場における最大の支出セグメントはページボリューム関連支出です。ページボリューム関連支出には、ページ単価契約に基づく支出や消耗費購入が含まれます。IDCでは、大企業を中心に働き方の変革、ワークフロー電子化などが進むこと、ホーム市場におけるプリント量の減少も続くとみています。2018年～2023年のCAGRでは、レーザーMFPからのプリントに関連する支出減少はマイナス1.0%に留まるものの、レーザープリンター関連支出はマイナス3.7%、インクジェットMFP/プリンター関連支出はマイナス6.5%となるとみています。

IDCでは、ベンダーによって提供される、複合機 / プリンターに関連するソフトウェアやソリューション、あるいはサービスをプリント関連ビジネスと呼んでいます。ハードウェア購入 / 保守支出、そしてページボリューム関連支出が縮小する中、多くのベンダーがこのプリント関連ビジネスの売上拡大に注力しています。IDCでは、プリント関連ビジネスは、2018年～2023年のCAGRで0.8%の成長を続け、2023年には555億8,400万円の支出額となると予測しています。しかしながら、こうした成長にかかわらず、2023年における国内オフィス / ホームプリンティング市場におけるプリント関連ビジネスに対する支出の割合は、3.3%を占めるに留まります。

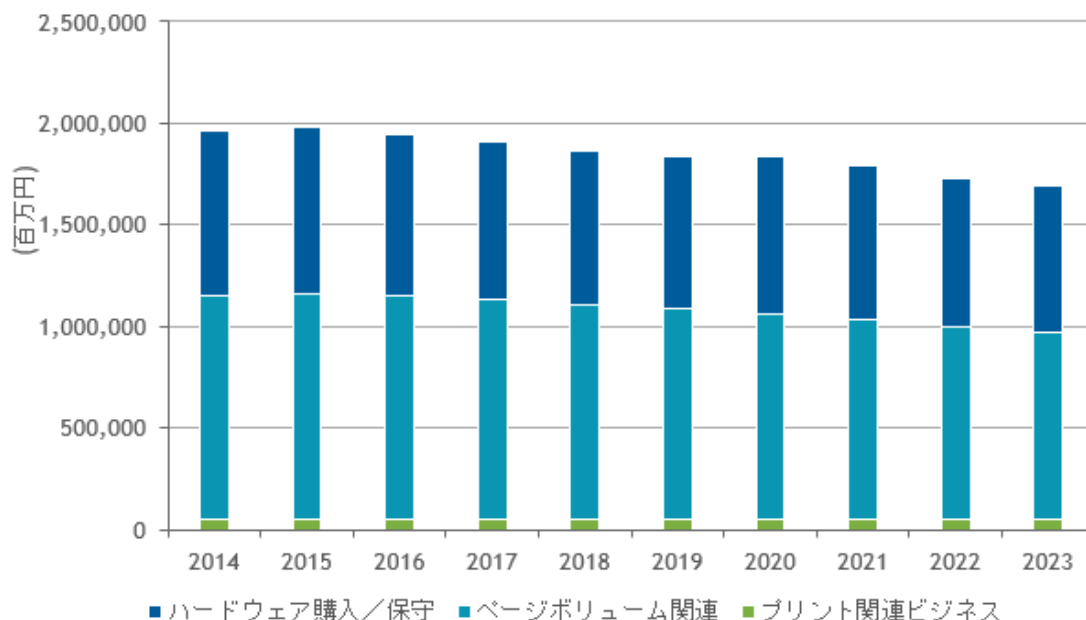
IDC Japan イメージング、プリンティング & ドキュメントソリューショングループマネージャーの石田 英次は「国内オフィス / ホームプリンティング市場は、今後もゆるやかな縮小を続ける。プリント関連ビジネスは成長基調にあるものの、市場全体を牽引する規模には至っていない。ベンダーには、より付加価値の高いプリント関連ビジネスを提供するなど、大胆な施策が求められる」と分析しています。

今回の発表はIDCが発行した国内オフィス / ホームプリンティング市場予測、2019年～2023年にその詳細が報告されています。このレポートでは、国内オフィス / ホームプリンティング市場について、2018年の支出額実績調査と2019年～2023年の市場規模予測をまとめています。

< 参考資料 >

国内オフィス / ホームプリンティング市場 支出額予測、2014年～2023年

Figure 1



Note: 2018年までは実績値、2019年以降は予測

Source: IDC Japan, 5/2019

About IDC

IDC is the premier global provider of market intelligence, advisory services, and events for the information technology and telecommunications industries. IDC helps IT professionals, business executives, and the investment community make fact-based decisions on technology purchases and business strategy. Over 775 IDC analysts in 50 countries provide global, regional, and local expertise on technology and industry opportunities and trends. For more than 40 years, IDC has provided strategic insights to help our clients achieve their key business objectives. IDC is a subsidiary of IDG, the world's leading technology media, research, and events company. You can learn more about IDC by visiting <http://www.idc.com/>.

IDC is a subsidiary of IDG, the world's leading technology media, research, and events company. Additional information can be found at www.idc.com.

All product and company names may be trademarks or registered trademarks of their respective holders.

For more information contact:

jp-Press Japan
jp-press@idcjapan.co.jp
+81-3-3556-4768